

令和3年度「地域の総合的な移動サービスのあり方検討調査業務委託」
に関するプロポーザルに係る提案書評価基準

表1の評価項目及び重みづけのもと、評価を行います。
各評価項目の評価の視点は表2のとおりとします。

表1 基本的評価事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	倍率	評価点
予定技術者の経験 及び業務実施能力 (40点)	現場責任者	現場責任者が本業務に生かすことのできる過去の実績を有しているか ※本業務に生かすことのできる業務実績については、①「過去5年間に、『国、都道府県、政令市、特別区または中核市において、地域の交通・移動サービスの改善や新規導入に係る支援業務』の受託実績」、②「過去5年間に、『国、都道府県、政令市、特別区または中核市において、地域の交通・移動に関するマーケティング調査、及び分析に係る業務』の受託実績」③「過去5年間に、『国、都道府県、政令市、特別区または中核市において、地域の交通・移動に関する政策（施策・事業）効果の設定、及び検証に係る業務』の受託実績」④「地域の交通・移動について、特定の自治体や地域において、複数年にわたり、取組みに対する支援をした過去の実績がある」の4つとする。	20		× 4	
	技術担当者	担当技術者が本業務に生かすことのできる過去の実績を有しているか ※本業務に生かすことのできる業務実績については、「過去5年間に、『国、都道府県、政令市、特別区または中核市において、地域の交通・移動サービスの改善や新規導入に係る支援業務』の受託実績」とする。	20		× 4	
提案内容 (150点)	実施方針、体制 及び業務工程	実施方針、体制が的確で、業務説明資料との整合が取れているか	20		× 4	
		業務工程に妥当性があるか（具体的な業務項目の想定、業務の順序、業務間の関連など）	10		× 2	
	特定課題	公共交通に加え、地域の多様な輸送資源も活用し、持続可能な形で、本市の地域の中における交通や移動手段を確保していくための検討について、検討に必要な視点、検討内容が的確な提案であるか	25		× 5	
		ICT活用に関する移動サービスの創出やあらゆる世代への普及に向けた検討について、検討に必要な視点、検討内容が的確な提案であるか	25		× 5	
		現時点で考えられる「既存移動サービスの改善あるいは新たな移動サービスの内容と、その事業スキームやビジネスモデル」及び「これらの実現に向けた課題とその対応」について、本市の特徴を踏まえた具体的な提案であるか、持続可能性のある提案であるか	25		× 5	
		移動サービスを検討するうえで、供給側及び需要側の実態や状況を把握するための調査について、移動サービスの検討に向けて、論理的に設計されており、具体的な調査であるか、効率性・信頼性が考慮された提案であるか	25		× 5	
	取り組み意欲が感じられるか	20		× 4		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等 (6点)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算）		1			
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員301人未満の場合のみ加算）		1			

次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得	1			
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得	1			
若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得	1			
よこはまグッドバランス賞の認定の取得	1			
評価点の合計（196点満点）				

評価方法

- (1) 「予定技術者の経験及び業務実施能力」及び「提案内容」については、A、A'、B、B'、Cの5段階評価を行う。
- (2) 「予定技術者の経験及び業務実施能力」及び「提案内容」の評価については、次のように点数化を行い、項目ごとの倍率を乗じ評価点を算出する。

評価	A	A'	B	B'	C
評点	5点	4点	3点	2点	1点

- (3) 「ワーク・ライフ・バランスに関する取組等」については各項目について満足する場合に1点を加算する。
- (4) 「予定技術者の経験及び業務実施能力」及び「提案内容」においてC評価のあるものは原則として選定しない。
- (5) 採点が同点の場合は、評価事項のうち、提案内容の「特定課題」の評価点の合計で受託候補者を特定する。
- (6) 評価点について最上位の者が2者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価				
			A	A'	B	B'	C
予定技術者の経験及び業務実施能力	現場責任者	現場責任者が本業務に生かすことのできる過去の実績を有しているか	①～④の全ての実績がある。	①～④のうち、3つ実績がある。	①～④のうち、2つの実績がある。	①～④のうち、1つの実績がある。	実績がない
	担当技術者	担当技術者が本業務に生かすことのできる過去の実績を有しているか	担当技術者全員が実績を有する	担当技術者の8割以上が実績を有する	担当技術者半数以上が実績を有する	担当技術者の3割以上が実績を有する	担当技術者のいずれも実績を有さない
提案内容	実施方針、体制及び業務工程	実施方針、体制が的確で、業務説明資料との整合が取れているか	正確な理解に基づいた非常に的確な提案である	正確な理解に基づいた的確な提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい提案である	理解が乏しい提案である
		業務工程に妥当性があるか（具体的な業務項目の想定、業務の順序、業務間の関連など）	非常に的確な提案である	的確な提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい提案である	理解が乏しい提案である
	特定課題	公共交通に加え、地域の多様な輸送資源も活用し、持続可能な形で、本市の地域の中における交通や移動手段を確保していくための検討について、検討に必要な視点、検討内容が的確な提案であるか	検討の視点が優れ、かつ的確である 検討内容が的確にまとめられている	検討の視点が的確である 検討内容が的確にまとめられている	検討の視点が的確である 検討内容が概ねまとめられている	検討の視点がやや欠けた提案である	検討の視点が欠けた提案である
		ICT活用に関する移動サービスの創出やあらゆる世代への普及に向けた検討について、検討に必要な視点、検討内容が的確な提案であるか	検討の視点が優れ、かつ的確である 検討内容が的確にまとめられている	検討の視点が的確である 検討内容が的確にまとめられている	検討の視点が的確である 検討内容が概ねまとめられている	検討の視点がやや欠けた提案である	検討の視点が欠けた提案である
		現時点で考えられる「既存移動サービスの改善あるいは新たな移動サービスの内容と、その事業スキームやビジネスモデル」及び「これらの実現に向けた課題とその対応」について、本市の特徴を踏まえた具体的な提案であるか、持続可能性のある提案であるか	本市の特徴を的確に理解している 具体的で、持続可能性が高く、市域他地区への展開を意識した提案である	本市の特徴を的確に理解している 具体的で、持続可能性の高い提案である	本市の特徴を的確に理解している 具体的な提案で、持続可能性が感じられる提案である	本市の特性の理解がやや乏しい	本市の特性の理解に乏しい
	移動サービスを検討するうえで、供給側及び需要側の実態や状況を把握するための調査について、移動サービスの検討に向けて、論理的に設計されており、具体的な調査であるか、効率性・信頼性が考慮された提案であるか	論理的で具体的な調査である 効率性・信頼性がしっかりと考慮されており、市域他地区への展開を意識した提案である	論理的で具体的な調査である 効率性・信頼性がしっかりと考慮された提案である	論理的で具体的な調査である 効率性・信頼性が考慮された提案である	論理的、具体性にやや欠ける提案である	論理的、具体性に欠ける調査である	

		る				
	取組意欲が感じられるか	非常に強い 意欲が認め られる	強い意欲が 認められる	どちらとも いえない。	意欲がやや 認められな い	意欲が認め られない
ワーク・ラ イフ・バラ ンスに関す る取組	表1の「評価の着目点」に記載した項目について満足する場合に1点を加算					